

一いよりのあし孫にあむ

九十四 鼻玄房

何ぞとていふて鼻へ入るんてあむ
おとて

九十五 唇に透目乃事

丑白乳をを 戌白未白耳露

上減 五む 此日ツス也

九十六 唇乃茶之次第

何ぞとていふて唇に透目乃事
何ぞとていふて唇に透目乃事